労働争議は暴力へ

三百名の人夫 警官と大亂闘

四名の警官は投石されて負傷 十九名は檢束さる

小樽労働争議は其後益々悪化し二十三日午後八時頃より稲穂町通稲荷山の曲丸キャンデー附近の下に約三百名の人夫集合し手に〱棍棒或はステッキを携ひ何事か密議中を小樽署が探知し多数の警官を現場に派遣したところ争議團側は暗に乗じく白ズボンに白の蔽ひ(帽子)を發見し早くも警官隊の乗込めるを知つて一齊に拳骨大の石を警官目がけて投つけたので茲に両者衝突し大格闘の末左の十九名を檢束其他は早くも逃走してしまつた、この騒ぎに岡谷江刺家外三名の警察官は頭部其他に投石されて負傷し直に醫師の手當を受けたが檢束者中には組合幹部は一名もゐなかつた小樽署は直に非常召集を行ひ萬一を慮つて各資本家側に正私服の警官多数を派し警戒せしめてゐる

後藤熊吉、若林善松、敦賀松五郎、上山利雄、足立泰一郎、齋藤力、小川菊五郎、吉田勇、佐々木惣吉、油谷松三、生石高雄、木村喜代吉、田澤政二、上村駒吉、青山堅佐久、小田市太郎、佐藤才三郎、若月福太郎、五十嵐松太郎

作太郎が發見人事不省の状態に陥つてゐたのを救助し直に鉄倉病院に擔ぎ込み應急手當を加へたので蘇生した。此の少年は函館市住吉町大工職山本運吉内職の妻大島ヨシ悴同猛(一六)と云ひ一週間程前まで函館旅館前山田旅館に奉公してゐたが謂司職人にならうと旅館に無断で家出し十五圓を旅費に札幌小樽と就職口を尋ねて徘徊し同日貨物を發見し舟遊中遭難したものである

労働倶楽部は中立と決定

社會民衆黨所屬の北海労働倶楽部は今回の小樽市に發生した争議に對して中立の態度を取るものであるが争議に對しては二十二日左の聲明書を發表した

一、倶楽部は小樽合同労働組合の總罷業に對して中立的態度を執る

一、欠員補充に就ては一切手を出さぬ

等なるが同時に倶楽部は今後も引續き聲明書通りの態度にて一貫する事を決議した

罷業團に同情の演説會

持久戰を豫想さるゝ小樽市のストライキに對し罷業團に同情せる市民有志は市民大會を開き多數市民にストライキを斷行するに至つた事情を發表して資本家方面、經済方面其他各方面より見て一大影響を與ふるに至つた眞相を示して公正なる市民の批判を求むると有志は目下會場を交渉中であると

官憲の不法取締りに 飽まで闘争を續ける

檢束者を見て却て結束を堅める

幹部は更に對策凝議

二十四日午後七時までに總罷業團總指令部に達した情報に依れば各分會所各分會の形勢は二十三日夜の檢擧者を見てより頓に緊張して不法なる取締に對しては飽迄これに闘爭を續けるの氣分漸次濃厚となり一時稍もすれば結束亂れ勝であつた罷業團は却て結束を強固にするが如き状勢を示して居り外に居る罷業團と共に寄せられてゐた食糧品も漸次各地方面應援團より到着しつゝある爲め元氣旺盛となり最後まで戰ふの氣分漸く漲つて居るので幹部は某所に會合して更にこれが對策に就き祕密裡に深更に至るまで密議を凝してゐる

今少し成行を監視してから

澤田長官から報告を得た

内務省當局の態度

【東京電話】小樽市に於ける争議は益々險悪化し遂に流血の慘を見、今や全道ゼネラルストライキを勃發せむとして居るが此の争議の裏には評議會が魔の手を延ばして居るとて地方長官會議に出席中の澤田長官より一應山岡警保局長に報告する所あり内務當局としては今少し事件の成行を監視した上適當の場合相當の處置を執る模樣であるが右につき山岡警保局長は語る

小樽の争議については廿四日に電報が一本あつたが大した事は無い模樣である萬事は北海道廳でやる事と思ふが万一の時の處置は考へて居る」云々

三無産團体が完全に握手應援

物質精神共に支持

労働農民黨北海道支部聯合會常任委員會は二十三日札幌市にて開催せるが小樽支部に達した情報に依れば聯合會は小樽總罷業に對して絶對的の應援をなす――物質方面よりも精神方面よりも極力支持するに決定し從來の小樽支部が取たる方針を一變して直接に活動を始むるに決定し更に全國黨支部及び團體に對しても極力應援支持して飽迄も闘爭を續けしむるやう依頼し之に依りて第一に態度を鮮明にした北海道地方評議會次ぎに絶對的に應援支持する旨發表した日本農民組合北海道支部聯合會及び物質精神方面に援助を表示した労働農民黨北海道支部聯合會の三無産團體が完全に握手して今回の小樽總罷業に對して應援する事になつたので二十四日夜以來の總指令部は氣勢とみに揚り殊に二十三日夜の檢束は罷業團をして一層興奮せしめた模樣で今後幹部の策動は大いに注目されて居る

農民組合各支部から 食糧を送つて應援

評議會支部も聲援

【旭川電話】小樽海陸労働總罷業に對し日本農民組合北海道聯合會では二十三日夜議決を以て全道四十四支部の農民に應援せしめ各支部に争議應援委員會を設け三千七百の農民大衆を始め一般應援者より争議資金及食糧を蒐集する事にし活動を開始した富良野支部の三俵を始め妹背牛、鷹栖、月形、ペーパンより送つた米を取纏へて小樽に送り氣勢を添へ、各支部からも續々寄附の申込がある、一方日本労働組合評議會北海道支部評議會では廿四日午後六時小樽の労働者を見殺しにするな旭川の労働者も起つて應援せよ裏切者を出すなと云ふ宣傳ビラを一萬枚自動車で市中に撒布し近く労働者大會を開く筈である

檢束者中七名は 刑務所に收容

殘り十二名も昨夜中に

檢事の令状を執行された筈

[illegible]所轄の二十三日午後八時過小樽稲穂町通稲荷山に於て三百餘名の争議團が警察官に投石して大格闘となり遂に十九名の檢束者を出したが更に同稲荷山より逃走した争議團の一團が錦町交番前に集り交番の硝子三枚を破壊する等争議團の形勢益々悪化するので小樽檢事局より神岡檢事及び岡田檢事札幌地裁より岡部檢事が二十四日午後來樽し小樽署に於て檢束者の嚴重取調を行つた結果同夜七時までに十九名中

中林善松、上山利雄、若月福太郎、五十嵐松太郎、小川菊五郎

法人 協調會